

大学名 信州大学

第74号 特集タイトル
「未来社会に向けた教員養成」

表題 従来の教科の枠組みを超えて教科横断的な学びを推進・指導できる力を育てる

背景

(1) 文理横断的・異分野融合的な知を備えた中核人材育成の要請

- 多様な専門性などそれぞれの強みを備えたチームでないと対処、解決、目標達成できない実社会の課題が急増

(2) STEAM 教育は、Science (科学), Technology (テクノロジー), Engineering (工学・ものづくり), Art (芸術／リベラルアーツ), Mathematics (数学) の頭文字をとって命名された教育・学習のアプローチ

(3) 既存教科の枠組みを超えてSTEAM教育を推進・指導できる教員養成が喫緊の課題

- それぞれの専門性を高める一方、専門外のことに対しても理解を示し、対話をしながら状況を俯瞰し折り合いをつけ、納得解を探っていく力を養う
- STEAM教育について、現時点において教職課程認定では未整備

教育学部におけるSTEAM教育認定プログラム(2023年度から実施)

※卒業要件とは別。任意の受講。

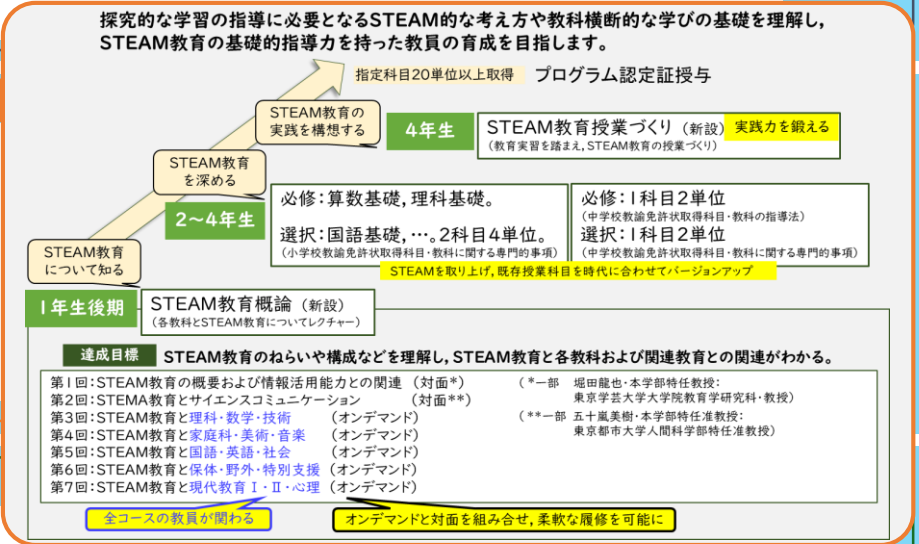
(特徴1) 新規開設授業科目は2科目

- 既存の教員免許取得授業科目にSTEAM教育を意識した内容を取り入

(特徴2) 本教育学部全14コースの教員が関与

- 学部附属小学校・中学校教諭と本学部教員との共同研究に基づく附属学校園でのSTEAM教育に関する事例も紹介

(特徴3) 一部オンデマンドと対面を組み合わせ柔軟な履修が可能



成果

- 教員養成カリキュラムにおけるSTEAM教育対応の見える化
 - 教育家庭新聞 最新ニュース(2023年5月31日)掲載
「STEAM教育認定プログラム 今年度よりスタート~信州大学教育学部」
 - 季刊「学研・進学情報」(株式会社 Gakken) 2024春号(2024年4月) 掲載
特集「教育学部でのSTEAM教育」
「信州大学教育学部のSTEAM教育認定プログラム」
- プログラム受講者数(2023年度1年生 受講率59.4%)
- プログラム受講していない学生も(卒業要件に係る授業科目の履修を通して)STEAM教育の素養を磨く仕組み

「STEAM教育概論」第2回での学生の振り返り(2023年度)

私は文系で正直、大学に入れば理系の科目とは関わらないと思っていたが、今回の講義を聞いて自分の専門以外の教育に関しても興味を持つことができた。

「STEAM教育概論」授業アンケート(2023年度)

STEAM教育のことで知っただけでなく、その考え方も知ることができた。

教科の枠を越えて学びを行うことで、子ども達の問題解決能力を育成することができ、探究的な学びや主体的な学びの大切さが分かった。